



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場会社名 リンナイ株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 5947 URL <http://www.rinnai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 小杉 将夫

TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	127,322	11.5	12,406	17.0	13,797	19.8	8,639	15.6
25年3月期第2四半期	114,216	△0.1	10,602	△7.9	11,514	△7.0	7,473	13.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 12,961百万円 (53.2%) 25年3月期第2四半期 8,461百万円 (4.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	171.44	—
25年3月期第2四半期	152.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	289,337	207,599	69.4
25年3月期	262,590	178,007	65.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 200,666百万円 25年3月期 172,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	32.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	268,000	6.4	30,000	13.8	32,000	10.1	20,000	3.2	391.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月及び7月に自己株式の処分を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」は、これを考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 上海林内熱能工程有限公司、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	52,216,463 株	25年3月期	54,216,463 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

26年3月期2Q	209,490 株	25年3月期	5,158,638 株
----------	-----------	--------	-------------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	50,395,463 株	25年3月期2Q	49,059,085 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費や設備投資が増加傾向で、欧州では財政緊縮による景気後退懸念から転換し改善基調に向かうなど、景気は緩やかな回復傾向にあります。中国では経済成長率の鈍化が見え始め、景気の拡大は緩やかな動きとなりました。また、国内経済では、現政権が推し進める成長戦略への期待感により円安・株高は進行するものの、実体経済の本格的な回復には至っておらず、先行きは不透明な状況となっております。

国内の住宅関連業界では、消費税率引き上げ前の駆け込み需要や住宅ローンの金利上昇を見込んだ動きに加え、被災地の住宅再建の影響もあり、新設住宅着工は好調を維持しております。また、リフォーム市場においても住宅設備機器の買替えが進むなど順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「ジャンプUP 2014」の2年目にあたり、総合熱エネルギー機器メーカーとして商品ラインアップを拡充し、人々の暮らしと地球環境に貢献すべく、グローバルな事業活動を進めてまいりました。販売面につきましては、国内では、ビルトインコンロや給湯暖房機などの高級ゾーンへのシフトが引き続き進み、海外では、アメリカや中国などのガス機器販売増に加え、為替の影響もあり増収となりました。損益面につきましては、高付加価値商品の割合が増加したことに加え、原価低減努力によるコスト削減効果などによって増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,273億22百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益124億6百万円（前年同期比17.0%増）、経常利益137億97百万円（前年同期比19.8%増）、四半期純利益86億39百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

〈日本〉

給湯機器では、お湯を使った様々な熱機器への利用が広まり、高付加価値商品となる給湯暖房機、および浴室暖房乾燥機や床暖房といった温水端末機器が売上増に寄与しました。厨房機器では、台所でのシステムキッチン化が進み、ビルトインコンロの販売が伸長しております。空調機器では、デザインを一新したガス衣類乾燥機の新製品「はやい乾太くん」が好評を博しております。また、電気とガスの融合により高い環境性能を誇るハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE（エコワン）」が市場において着実に認知されてきております。日本の売上高は831億96百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は90億84百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

〈韓国〉

安全性向上を図るための法令としてコンロ過熱防止装置の取付け義務化が開始され、平均販売価格の上昇が売上を押し上げましたが、景気低迷により市場縮小が続いているボイラーの販売減が影響し、現地通貨ベースでは減収となりました。しかし、為替の影響により、韓国の売上高は122億42百万円（前年同期比21.1%増）となりました。一方、販売管理費の増加によって、営業損失は1億15百万円（前年同期は営業利益4億85百万円）となりました。

〈アメリカ〉

アメリカでは、景気回復を背景に住宅関連市場も活発化しており、ガス瞬間型給湯器の販売が好調に推移しました。アメリカの売上高は71億11百万円（前年同期比33.7%増）、営業利益は2億85百万円（前年同期比832.2%増）となりました。

〈オーストラリア〉

現地経済の低迷によりガス瞬間型給湯器の販売は低調であったものの、多角化を推し進めることによる業容の拡大に加え、為替の影響により、オーストラリアの売上高は87億44百万円（前年同期比14.5%増）、営業利益は16億98百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

〈中国〉

中国では、生活水準の向上に加え、ガスインフラの整備拡大が順調に進み、主力となるガス瞬間型給湯器を中心に販売は堅調に推移しました。中国の売上高は86億92百万円（前年同期比58.9%増）、営業利益は8億27百万円（前年同期比96.2%増）となりました。

(参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第2四半期累計期間 (平成24年4月1日 ～9月30日)		当第2四半期累計期間 (平成25年4月1日 ～9月30日)		増 減		前 期 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
給湯機器	56,298	49.3	64,748	50.9	8,450	15.0	127,125	50.5
厨房機器	35,822	31.4	37,636	29.6	1,813	5.1	78,782	31.3
空調機器	7,415	6.5	8,186	6.4	771	10.4	15,666	6.2
業用機器	3,494	3.1	3,667	2.9	173	5.0	6,912	2.7
その他	11,185	9.8	13,082	10.3	1,897	17.0	23,346	9.3
合 計	114,216	100.0	127,322	100.0	13,105	11.5	251,832	100.0

(参考2) 海外売上高

	前第2四半期累計期間 (平成24年4月1日～9月30日)			当第2四半期累計期間 (平成25年4月1日～9月30日)		
	アジア	その他の 地域	計	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	21,659	16,492	38,151	27,861	20,265	48,127
II 連結売上高 (百万円)	—	—	114,216	—	—	127,322
III 海外売上高の連結売上高に 占める割合 (%)	19.0	14.4	33.4	21.9	15.9	37.8

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ267億47百万円増加し2,893億37百万円となりました。また、負債は28億45百万円減少し817億37百万円となり、純資産は自己株式の処分を行ったこともあり、295億92百万円増加し2,075億99百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は69.4%となりました。

キャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて37億47百万円増加し587億78百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に営業利益の確保による資金の増加、法人税等の支払による資金の減少等の結果、営業活動によって得られた資金は64億67百万円(前年同期比103.8%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に定期預金の預入れと払戻し、投資有価証券の取得による支出等により、投資活動の結果支出した資金は198億9百万円(前年同期比609.5%増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に自己株式の処分による収入等により、財務活動によって得られた資金は158億76百万円(前年同期は16億52百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、上海林内熱能工程有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,691	49,345
受取手形及び売掛金	59,699	58,540
有価証券	39,479	41,784
商品及び製品	16,467	18,686
原材料及び貯蔵品	9,855	10,839
その他	5,059	5,266
貸倒引当金	△487	△543
流動資産合計	177,766	183,919
固定資産		
有形固定資産	41,121	43,344
無形固定資産	1,526	2,659
投資その他の資産		
投資有価証券	30,665	45,024
その他	11,980	14,862
貸倒引当金	△470	△473
投資その他の資産合計	42,176	59,413
固定資産合計	84,823	105,417
資産合計	262,590	289,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,446	42,385
短期借入金	3,748	3,892
未払法人税等	5,931	3,674
賞与引当金	3,153	3,236
その他の引当金	1,895	1,998
その他	13,897	13,666
流動負債合計	73,073	68,854
固定負債		
長期借入金	2,550	2,500
退職給付引当金	4,625	5,275
その他の引当金	39	38
その他	4,293	5,069
固定負債合計	11,508	12,882
負債合計	84,582	81,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,720	8,719
利益剰余金	178,540	181,139
自己株式	△23,480	△954
株主資本合計	170,240	195,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,919	2,388
為替換算調整勘定	332	2,914
その他の包括利益累計額合計	2,252	5,302
少数株主持分	5,515	6,933
純資産合計	178,007	207,599
負債純資産合計	262,590	289,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	114,216	127,322
売上原価	79,709	88,310
売上総利益	34,507	39,011
販売費及び一般管理費	23,904	26,605
営業利益	10,602	12,406
営業外収益		
受取利息	430	452
持分法による投資利益	455	349
為替差益	—	287
その他	419	498
営業外収益合計	1,305	1,587
営業外費用		
支払利息	133	95
為替差損	205	—
固定資産除却損	41	74
その他	14	26
営業外費用合計	393	196
経常利益	11,514	13,797
特別損失		
投資有価証券評価損	157	—
特別損失合計	157	—
税金等調整前四半期純利益	11,357	13,797
法人税、住民税及び事業税	3,230	4,172
法人税等調整額	282	465
法人税等合計	3,513	4,637
少数株主損益調整前四半期純利益	7,843	9,159
少数株主利益	369	519
四半期純利益	7,473	8,639

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,843	9,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	393	468
為替換算調整勘定	298	2,922
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	411
その他の包括利益合計	618	3,802
四半期包括利益	8,461	12,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,016	11,689
少数株主に係る四半期包括利益	444	1,272

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,357	13,797
減価償却費	3,862	3,723
売上債権の増減額 (△は増加)	2,905	3,514
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,675	△1,749
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,224	△4,913
その他	△2,175	△1,992
小計	9,049	12,379
利息及び配当金の受取額	428	674
利息の支払額	△133	△130
法人税等の支払額	△6,171	△6,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,173	6,467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,989	△21,757
定期預金の払戻による収入	7,283	24,908
有形固定資産の取得による支出	△4,472	△5,247
投資有価証券の取得による支出	△1,713	△19,459
投資有価証券の売却及び償還による収入	804	1,655
その他	1,295	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,792	△19,809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	—	17,632
配当金の支払額	△1,373	△1,470
その他	△279	△285
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,652	15,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	121	934
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,149	3,468
現金及び現金同等物の期首残高	48,618	55,030
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	278
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,468	58,778

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成25年6月5日開催の取締役会決議に基づき、平成25年6月24日を払込期日とする公募による自己株式2,600,000株の処分及び平成25年7月9日付で第三者割当による自己株式350,000株の処分を行い、資本剰余金が4,212百万円増加、自己株式が13,428百万円減少しております。

また、同取締役会決議に基づき、平成25年7月12日付で自己株式2,000,000株の消却を実施し、資本剰余金が4,213百万円、利益剰余金が4,890百万円、自己株式が9,103百万円それぞれ減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金は8,719百万円、利益剰余金は181,139百万円、自己株式は954百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	アメリカ	オーストラリア	中国	計			
売上高									
外部顧客への売上高	79,963	10,113	5,319	7,633	5,471	108,502	5,714	—	114,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,322	242	—	8	716	9,290	1,175	△10,465	—
計	88,286	10,356	5,319	7,642	6,187	117,792	6,889	△10,465	114,216
セグメント利益	7,324	485	30	1,623	421	9,886	758	△41	10,602

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	アメリカ	オーストラリア	中国	計			
売上高									
外部顧客への売上高	83,196	12,242	7,111	8,744	8,692	119,986	7,335	—	127,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,223	232	—	13	789	11,259	1,394	△12,653	—
計	93,419	12,475	7,111	8,757	9,481	131,246	8,729	△12,653	127,322
セグメント利益又は 損失(△)	9,084	△115	285	1,698	827	11,780	824	△199	12,406

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。